

## 大方高校生が東京・銀座で カツオたたきバーガーをPR



キャラバン隊の山沖静奈さん・池田名月さん・朝比奈樹里さん・吉井成美さん・島田怜奈さん・池内菜穂さん。

カツオたたきバーガーは、大方高校生が発案した黒潮町のB級グルメ。町では、このバーガーのPRを通して町の魅力を全国に発信してもらおうと、9月26日、大方高校2年生の6人を「ふるさとキャラバン隊」に任命しました。

キャラバン隊は、10月3日・4日に東京・銀座の高知県アンテナショップ「まるごと高知」で行われた特産品の試食・販売会に参加。

最初は尻込みするお客さんも、試食してみると「おいしいね」「意外に合うね」と大好評でした。



## 大方高校のクリエコ活動

大方高校では、昨年からのクリエコ活動（ごみの種類や量を調査することで、自然環境の保全につながる活動）を行っています。



「大方高校エコベンチヤーズ」の4人（小橋沙耶さん・石塚芹南さん・道倉里穂さん・竹中在花さん）が中心となり、今年に入野の浜周辺の清掃のほか、仁淀川・蛸瀬川の水質調査にも取り組んでいます。

9月30日の砂浜清掃には、全校生徒と約30人の地域住民が参加。台風の影響で流木など自然のごみも多くありましたが、今回は人工物のみを対象に収集し、素材や種類に分けて数を調べました。



この取り組みは、11月2日・3日の文化祭で発表されます。今後クリエコ活動にどう取り組むか検討中です。

## 大方民謡クラブ48周年発表会

大方民謡クラブの発足48周年を記念して、10月8日、ふるさと総合センターにて「ふるさと民謡の夕べ」が行われました。約30名の会員が、日本各地の民謡を披露。第2部『幡多の民謡』では、入野地区の「クロス」、鞭地区の「かっつとん」のほか、伊田郷土芸能保存会の「新吉踊り」や鞭部落芸能保存会の「鎌踊り」などもあり、方言での演目紹介で盛り上がりました。

同クラブは、昭和37年に公民館活動の一環として発足し、現在は会員34名で活動中。2年後の「50周年記念発表会」に向けて練習にも熱が入ります。新規会員も募集中です。お問い合わせは小室保子会長（☎43-2394）まで。



フィナーレは、メンバー総出演の花笠音頭（山形県）で観客を魅了しました。

## 「光の切り絵」で夢の世界へ



鯨、銀河鉄道、天使、秋の夕暮れなど、どの作品も楽しめる仕掛けがいっぱいでした。

「まるで海の中にいるみたい」  
10月15日・16日、大方あかつき館で、光の切り絵作家・酒井敦美さん（愛知県）の作品展が開催されました。酒井さんは、今年5月のTシャツアート展で審査員を務められ、今回初めて町内での作品展が実現しました。

来場者は、館内では、1枚の絵が光の当て方で変化する「二画二驚」の不思議な世界に触れ、屋外では、建物や広場いっぱい光の切り絵を投影した「野外幻灯展」でアートを体感。子どもはもちろん、大人も童心に帰って楽しんでいました。